

新ひだか町の魅力ポイント ■面積 1,147.55km² ■人口 約2.1万人 ■指定地域 過疎・振興山村

■ 優駿桜国新ひだか！ 7 km続く桜、丘と馬。ここでしか観られない素敵な風景！

二十間道路桜並木

北海道の桜の名所。直線7kmに、2000本以上の桜。大正5年からの歴史を持ち、樹齢100年を超える木も。春には「しずない桜まつり」が開催され、賑わう。



競走馬のふるさと

「丘があり馬が放牧されている風景」は北海道内でも珍しく、地区の特色であり魅力。軽種馬農協で競りが行われる期間、町内宿泊施設は満員御礼。



■ 新規就農者も頑張っています！ 安心！ 手厚い農畜産業バックアップ体制！

農業

太陽の瞳(ミニトマト)は新規就農者向けにハウスと土地を町が準備。充実した研修体制が人気。



園芸

暑い夏に青色が咲くのは北海道だけ！デルフィニウムは町の主要産業のひとつ。町営育苗施設により農家のリスクを軽減。



畜産

黒毛和牛の「みついし牛」は町営の肥育施設で一貫生産している。



▲ホテルには競りの際等に利用する馬主さんの馬のタペストリーが飾られていることも。サラブレッドのふるさとだと感じる瞬間。

■ 充実の町営施設！ 森と海 2 箇所のキャンプ場と乗馬施設！

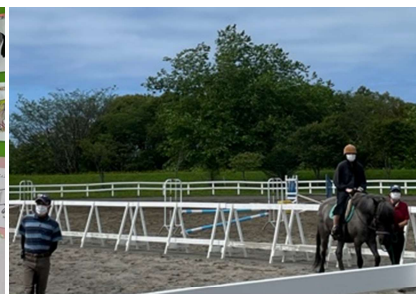
【キャンプ場】

三石地区と静内地区にそれぞれ整備、温泉も隣接。三石地区のキャンプ場は海沿い。季節により星の観測も可能。道の駅もすぐそばでBBQにも便利。隣接の「みついし昆布温泉蔵三」には昆布が浮いている！ 静内地区のキャンプ場は緑に囲まれていてゆっくり過ごせる。



【ライディングヒルズ静内】

教育面に注力した乗馬施設。地域の子どもが競走馬を身近に感じられるよう、馬に触れる機会を創出。施設内に、クイズやぬり絵を設置して、子どもが飽きない工夫をしている。乗馬や餌やりが安価で体験可能。



【特産品】

- ・競走馬
- ・米(トキノミノル、万馬券)
- ・ミニトマト(太陽の瞳)
- ・和牛
- ・昆布
- ・海産物(蛸、ツブ、鮭、マス)
- ・デルフィニウム 等

【お土産(一例)】

- ・三石羊羹(老舗菓子屋作!)
- ・ユッカムジャーキー(桜の香り!)
- ・あらいそまる(昆布入り肉まん)

新ひだか町の課題

■ 政策分野 地域交通・難聴地域の共聴施設等

■ 地域内公共交通利用促進及び交通網再構築

⇒合併前のコミュニティバスの統廃合の困難さ、廃線代替バス

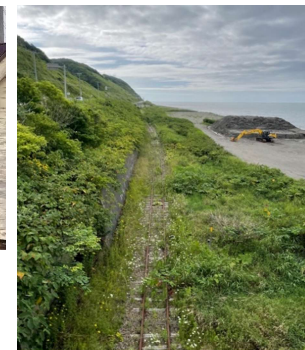
街中を走行する廃線代替バス。▶
線路は使用時のまま残っている。

■ 難視聴地域の共聴施設及び組合の維持

⇒組合員としての意識の低下、施設老朽化等

■ 地域課題解決へのICT技術利用促進

■ 農業分野での技術者不足や収穫期の人手不足



◀老朽化により倒れてしまった共聴施設。田んぼ側に傾いていることが写真からも良くわかる。根元から折れてしまっている。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 概ね毎月 1 回程度のオンラインミーティングを開催、8 月第 1 週に現地を訪問。
- 各隊員が公務や応援隊定例ミーティング、個人的興味等により得た情報について積極的に提供。

今後の方針

- 担当課直轄の課題は全て概ねの方向性が決定し、動き出しているため、見守りつつ随時進捗確認。
- 交通系課題はJR廃線による代替バス問題と自治体コミュニティバスの問題が混在しており、運輸局との打ち合わせへの同席等を検討中。